日中国交回復50周年記念　「一九四六」神戸展

Beyond
50
日中敬隣
兵庫県立原田の森ギャラリー
2022.8.31−9.4
Love & Peace & Humanism
人類運命共同体

寺田美術学院　王希奇教授

「一九四六」神戸展

2022. 8/31～9/4

神戸市灘区、原田の森ギャラリー

感想文集 ②

「一九四六」神戸展実行委員会
事務局　日中友好協会兵庫県連合会
電話＆FAX(078)412−2228

前略　私は昭和16年10月24日北京生れの
埼玉県川口市東川口4-12-22-505在住の
牧野正道と申します

インターネットで満州からの引き揚げ者が葫蘆（コロ）島から
引き揚げ船（名称は忘れたが　その船はその後捕鯨船に
改造されてその後貨物船に再改造され　そして~~船舶~~新
で読んだことを母の話と私の記憶で憶えている）
に乗って佐世保に引き揚げて生還した者です。

その間の話は母からの聞き憶えと私の記憶を
今話して置いた方が良いと思いました。

今般この満州引きあげ者の記憶画展示会のことを
知りました。　この惨状をよくぞ絵画に残してくれた
中国人画家　王希奇さんに感謝致します。

私が画才がありましたら私も画き残したく思ってました。

私ども吉林の病院で弟（昭和20年9月7日生）を生むため
入院していたところへ今のウクライナと同じいやそれ以上の恐怖
を体験をしています。

これらの恐怖体験を残す方法をおしえて下さい。

TEL 090-2381-8615　牧野正道
FAX 048-297-7901

8月31日　6人

No.

Date

8/31 私の恩人が昨年11月に亡くなりました。恩人は良く[illegible]の事を話してくれてました。
亡き恩人がぜひ見たかった思います。
来て良かったです。

高橋

8/31 この広い会場一杯の空気が一変するような絵。
（兵庫県）　画伯の王教授のみならず
開催された皆様のご努力に
改めて敬意を表します。

西幸正

8/31 何とすごい迫力！
よくぞ故国へ！ これ以後の人生を思うと、
後世に、若い人、子どもたちに
史実を伝えていかなくては、役割
をはたせない、新たな決意で
日中友好運動に取り組みたい、

前田清

8/31. 私の知人で身体に障がいのある方がウクライナの戦争を見てつぶやいている言葉に考えさせられることがありました。

「私のような歩けない障がい者が戦争のような状況になれば（障害も含め）まっ先に処分される。そのことがこわいからウクライナの戦争も人ごとではない。いつ日本にも飛び火して、戦争にならない保証はどこにもないから」と。

あらためて迫力ある絵を見させて頂き、戦争の悲惨さや、この絵に描かれているお一人お一人の気持ちを考えると「絶対に戦争は、どんなことがあってもやってはいけない。今やっている戦争も早く終わらせなければならない」とつくづく感じました。

どの絵も想いの深く込められた絵ばかりで深く深く感銘しました。
一人でも多くの方に、特に若い人たちに見て頂き何かに気づき感じ取って頂けることを願います。

展示会開催するには、ものすごい労力とご尽力が必要となりますが、できるだけ一人でも多くの方に見て頂く機会が増えますよう、心よりお祈り申し上げます。

山下.

8/31. 前回、四国で開催された時、既に終了していて見ることができませんでした。もう機会がないのかと失望していましたが、開拓団の語り部をしている方から招介され、今日来ることができました。
王先生は我私より5才年が若いです。そういう世代の方が、この絵を完成させられたことに、感動を覚えます。
我三十多年以前在长春学习汉语。
我很喜欢中国、中国人民!

M.Y.
（高橋）

8/31. 日中新聞で、以前より、この「1946」の報道をみていましたので、今回、珍しく夫も同行してくれて観ることが出来て良かったです。
私は、1946年雲仙丸で佐世保で帰国したと2007年に94才で他界した実母から聞いていました
詳しいことは簡単には書けませんが、今、母の胸中を想うと、改めて、ためて、もっと、もっと、話を聞いていたらと思います。
2才の妹は乗船直前に餓死（母の背中で）のため油を少ししか手に入れられなかったので、岩で骨をころがして、少しの形見を、端切れに包んだその灰は日本に上陸した時は跡形もなかったそうです。
4才の私、5才と7才の兄を連れて、上陸した時、あちこちに並んだ立札に父からのものはないかと、探して、何も見当らなかった母の気持。もっと、大きく母を支えてあげられなかったのは致し方ありません。
色々想い出させてくれた王さんの絵は何よりの励ましでした。

8月31日

昭和20年 終戦 引揚までの食料は何食べた？
さて引揚げ・石炭列車（箱）雨風の中 約1ヶ月経て
コロ島へ……。
ハチロ軍 以下の ポツ勤等々・小学校接収。
集合住宅の窓より窓外の様子を伺い母は
ヒヤヒヤの日々（小学生3年生）……
表現・難しく 体験者のみの……。
① 室町幼稚園・三笠小學校・春光小學校

その后正面に見えていた小学校をハチロのボヤで全焼！
出身？ 藤田満寿子

会場がとても広く明るくて、暗い気持がやさしさに包まれているようでした。描かれたひとりひとりの表情がとてもよく見えるので、今まで他会場でも見てきましたが、ここで一番多くの人に出会えたように思います。ここから始めたい…この絵から一歩を踏み出したい… 神奈川県から来ましたが、本当に来てよかったです。ありがとうございました。 宮﨑良子

戦後70年以上の今から見えば、すでに想像力を失った現在の人々に当時の光景を想起させる油絵です。和平時代に生きる若者にも見てほしいなと思っています。

No.

Date

2022-8-31. 「一九四六」作品におどろきました。又色々な引揚の記録説明を読まして頂きました。私自身も引揚者の一員につき、自分の出自を知る事に大変参考になりました。又私自身も油絵を描いておりますので「一九四六」のすばらしさは良くわかります。感動を有りがとう御座居ました。中山正一

2022.8.31
大作におどろき感激しました。
兵庫県からきましたが本当に感激。
本当に平和であることをただ祈るだけしか
できませんが・・・・。

2022.8.31
日中伴に相手国への感情がますます悪化する中、
今一度この不幸な事実~~を~~に思いを至すことが
必要ではないか。今回、この「一九四六」という大作
を見て強く思いました。

8月31日　3人

No.

Date

8/31　10:45
10才の時 母と子供4人 連々と並んで
引揚船に乗りこんだ 情景を思い出さ
れた
〜たより 85才

8/31　船のうしろから見た「海面」.. じ〜んとくるもの
があります、
乗船を待つ避難民、この乗船場まで
どれ程 どんな状態でたどりついたかを~~思~~
想像しました。ウクライナの人たちの避難民
と像が かさなります。
決して許すな戦争を!!

8/31,　人間のおろかさ、日本の私共の祖先の[illegible]化、
とにもかくにも、Warは極く一部の権力者が起こす
もの。私共大半を占める庶民はどうしたら良
いのか、こ、

No.

Date 9月1日　8人

事前に見せて頂いたDVDとはちがい、
現物の大作を見て感動を覚えました。
シベリア抑留次世代語り部の会代表
斎藤 寛

1才の時に負んぶされて帰ってまいりました。
姉は3度捨てられたと言っています。
満鉄に勤めていた父と母と4人で引き揚げ九州に着いたとのことです。
今回ありがとうございます。

本日は展示ありがとうございました。
5才の私を絵の中に見い出した感じです。
長春（新京）生れの私も82才になりました。
当時の満人の方々も懐い思い出しました。
父は現地招集でソ連（シベリヤ）にほりよ（捕虜）になり、お袋が子供3人を連れて帰って来ました。
先生の絵を拝見して、当時の現実を認識すると共に、現在生存するありがたさ、幸を感謝いたします。

展示ありがとうございました。
改めて日本の非道さを知るにつけ、現在の日本とつながり、二度とこんな悲惨な思いを子や孫に味あわせたくないと思いました。

困難な時期の開催、本当にありがとうございます。
大作のそれぞれを見せて頂き その精神力に感動致しました。苦しく、悲惨な場面、表情の描写は精神力、体力共に消耗します。でも、最初の墨色の海のうねりに
すみ
思わず涙が出るほど圧倒されました。
「歴史画家」と言われる絵画の持つ力をあらためて知りました。 関係者の皆様ありがとうございました。

事件の絵は勿論、左右の海の描写もすごいなァへと思いました。来てよかったです。ありがとうございました。

絵大作に圧倒されました。ていねいに描かれており、人々の表情には憔悴と、しかし希望の表情もかいみえました。このことを、次の世代に伝えていくことの重要性（この時期だからこそよけいに）を感じます。

9月1日

No.

Data

2022.8.1.

「1946年」作品、感動をもって鑑賞させていただきました
スゴイ内容ですね。満州へ開拓といって国民を中国へ連行し、帰国したら大変な土地へ「開拓」といってそこへ行かされた
本当に非道なことと思いました。
ありがとうございました　関係者のみなさんのお話しに
感謝します。

岡田美乃利

2022.9.1

1946 拝見させて頂きました。帰還者の皆さんの、
表情が様々で複雑な心境が伝わります。
にらみつける眼や、恐怖心を感じます。
満州国での生活が良かった人、苦しんだ人も一緒に
同じ船で帰国する・・・ [illegible]方がその後の
日本での人生にどうなったのでしょうか
この歴史の現実から未来を見つめて活かしていきたいと
思います、

2022.9.1

○私は3才の時コロ島から帰りました。
○母親から満州での生活を聞いていました。
○母親の苦労を思いこの絵を見に来ました。
○中国人の王さん有難うございました。

2022.9.1

来てみて圧倒されました。筆の力とはものすごいものでした。
私の父母は大連で結婚し7人の子供を生みました。鍼灸の医者でした。私は1945.~~8~~5月に生まれたばかりの赤ちゃんです。
ソ連兵が家にやってくると~~母~~は私を抱いて彼らと応接したという話。すると兵は「ハラショー」と言ってニコニコとし
帰っていたそうです。

No.

Date

9月1[illegible]日 感想文 （1人）

+（5人）

私の母が引きあげ者だったため、日経新聞の記事にすぐ目がいきました。

この大きな絵の中に、母も祖父母もいる気がしてなりません。

母一家は 開拓団ではなかったのですが、祖父が満州[illegible] 生活必需品の仕事をしていたので満州にわたりました。

いつも、加害者とであり被害者であることをおもっていました。

長野 南しんしゅうの 満蒙開拓記念かんもおすすめです。

ありがとうございました。

京と、みすみ

9月1日 ✓

No.

Date

4/1

昨日の朝日新聞を見て、これはいかないとダメだと思って来ました。母からあずかった引揚証をどうすればよいかと悩んでいましたので今日来られてよかったです。
私自身は全く記憶がありません。
作品を見ながら、自分もこの中の1員であったのかと思いが強くでてきました。

中野 孝子 ✓

コロ島から佐世保に着いたということです。
書類は後日ミュージアムの方に届けます。

加害者であり被害者であった日本。
大きな厂史のうねりの中で、一人一人がけんめいに生き抜かれた人達……亡くなった人達。

一人一人の辛いかなしみ、いかり、平和へのかぎりない望みを、私達は受けとめ引きついでいきたい。 ✓

田辺久子

No.

Date

コロ島、私にとって忘れられない所。
母が満州奉天（今の瀋陽市）から子供6人
連れてたどり着き、ここから引揚げたのです。
子供6人、姉14、12、兄10、私6、弟3、
末の弟0才の赤ん坊でした。
父は天津に抑留中で、母はひとりで連れ
帰ったのです。
写真展をみて 母のこと、きょうだいのこと、
いっぱい思い出して涙しました。
大きな絵、よくぞ描かれたと思います。
子供の表情に私の気持が偲ばれました。

2022.9.1. 木下蘭子 ✓

王老师 谢谢。

和平持续！

2022.9.1. uu

No.

Date

~~3/31~~ 21

朝からスマホを見て、随分なつかしくコロ島の話題に、加藤登紀子さんの話も、自身の幼年期を重ねて、当ギャラリーに来た次第。

昭和21年9月の引き揚げで大阪に帰ったものの、親父も大変な思いで子育てをしてくれたものだと、今更ながら有り難く感じています。

[illegible]利一

9月2日、感想文（1人）＋（12人）

王 希奇画家の深い人間愛に感動しました。

このように画で歴史に残してくださり、嬉しいです。

6歳で博多に着きました。避難生活の中で父を銃撃戦でなくし、0才と3才の弟を栄養失調でなくしました。母は、後に「骨壷を三つもかかえた寡婦の運」という川柳を作っています。平和を希求して体験を語っていきます。

広島 呉市 柳瀬文恵
（82才）

9月2日

No.

Date

どうしても見たくて足を運びました。
涙が止まりませんでした。
平和がどんなに大切な事か…
世界中で戦争がなくなり
平和な新しい世がきますように！
H・H

引揚2世として、親の苦労、引きあげてからの苦労も
含め再認識しました
奈良 H.N 73才

たまたま京町家の前を通りがかられた画家井口和子さんから
今回の展示のことを教えていただき 京都から見に来ました。
一昨年は「『満州国』って、知っていますか？」展を夏に開催し、
今年は「『シベリア抑留』って、知っていますか？」をしています。
展示された絵の迫力に圧倒されました。 展示説明文をていねいに
読みながら「棄民」という言葉がクルクル頭の中をかけまわりました。
今の政治のあり方をみても「何だかなぁ…」という思いがしています。
展示開催にご尽力はさぞかし大変だったことでしょう。 おかげで
良いものを見ることができました。 展覧会を教えて下さった井口先生にも
感謝申し上げます。 おもちゃ映画ミュージアム 太田文代

王希奇先生に感謝申し上げます。
戦争は、一般市民にとって、負が以外、なにものでもないと
改めて、解りました。ありがとうございました。
前田律子

今日は本当に幼ない頃を思い出し
胸があつくなりました。
受付をなさっていらっしゃる方とお話しが出来ま
たこと、本当に嬉しかったです。
母も妹も弟も亡くなってしまい、私一人
元気にここまでこれました。
これからも　頑張っていかないと　と
強く自分に言いきかせました。
ありがとうございます。

神戸　小川宏子

中国の画家　王希奇先生が日本の引揚の絵を
書いてもらってありがとうございます
現代のゲルニカと思います。開催して頂きありがとうござい
奈良　山崎岡郁子

No.
Date

主人シベリア帰えりの人でした あまり話すすなく
新聞に出て、すべみすが、自分の口で話し出来
ようすでるなくなり、本当によかった思います 色々の方々
におせ話になりよかったと思っています
奈良県 盛島華子

今では語い合う母もいない 今回のよい企画をして
頂き感謝です。私5才、生まれて50日の妹と連れて
母と三人で引き揚げました。父はソ連抑留
無事帰国し 幸せに過ごしています。
広々とした空間で、しばし はるか昔を思い出しました。
ありがとうございました。
西宮、中野

主人の母が満州新京で生まれ、小学校
2年の時に、コロ島から引き揚げ、鹿児島の
甑島に一家で戻りました。折に触れ満州
や引き揚げ時の話を聞いていましたので、
今日の絵の~~ような~~中に~~義~~母達がいないかと
想いながら、拝見しました。
戦争では 日本の被害は大きく語られて
きましたが 加害の事は 省りみることが
まだまだ少ないと思います
ただ日中お互いが受けた傷のことで
責めるのではなく、歩み寄りの対話を続ける
ことが大切だと、今日の展示会で改めて
思いました。
王先生の作品と出会えて本当に良かったです
明石市 中村陽子

No.

Date

とてもすばらしい展示で、感動しました。
1946年は、私家族が引揚げた年です。
この中に、私や家族を見ました。
ありがとうございました。二度と同じように
つらい思いを世界中の家族~~にして~~がしないことを
心から思います。

展示会、ありがとうございました。
父は若い頃に満州の日本呉服店に勤めるため大陸に渡り、
現地招集されました。幸い無事に日本に帰ることができ、今、私が
生きていられます。大正9年生まれでした。
伯父は満州事変で亡くなり、下の伯父は南洋のテニアン島で亡くなり
ました。23才と20才でした。
「一九四六」のお一人お一人の中に父の姿を見る思いがしました。
戦争を二度とおこさないために、国は外交を一般の私たちは
国際交流を [illegible] していかなければならないと思います。
日中交流50周年、沖縄復帰50周年、ロシアのウクライナ侵攻
が起こっている最中に、こうした展示会が開かれる意義は
とても大きいと思います。
みなさんの書かれたノートも読ませていただきました。
平和を進めましょう。

2022.9.2　長岡京市　奥谷ミ穂

No.

Date

すごく感動しました。両親の声が聞こえた様でした。
話して（引揚げの様子）くれてた事が思い出されて
もっと色々聞いておけばよかったと涙があふれてました。
戦争の非惨さには腹がたってます。

私の生れた日にソ連軍が土足で家に入って来たそうで
→(1945年10月1日)
産婆さんが今 女の子が生れたとこよと言われたら、
すぐ出ていったそうです。

コロ島 引き揚者

2022.9.2.
尼崎市 馬越いこ

No.

Date

9月2日 感想文（11人）

8月末の立命館大学土曜講座で引き揚げ女性のお話を聞きました。絵に描かれている人々の中にこれらの人々もいたのだなと思いを新たにしました。様々な事情で満州に渡り、戦後も日本政府に見捨てられ、今なお、二世三世問題は大きな問題です。日中間の市民レベルの交流が両国間の友好発展につながればと思います。素晴しい展覧会、ありがとうございました。

私の両親も幼い姉を連れて1947年帰国しました。私は母のお腹にいたそうです。姉は帰国途中中国人に売れ売れといわれたそうです。こういう機会に過去を改めて思い至らせて頂いてありがとうございました。

時代背景も大きく変わ~~今~~り、事態はより一層混迷し、解決にあたってより長期的な視点から考察することが求められる今、こうして普段触れることのない時代の一面を肌で感じることが出来る機会は貴重で重要なものだと思います。現在は私の自分には想像もつかないようなことが多く起こっていたということを歴史の教科書ではなよりリアルに知ることができました。ありがとうございました
（大学生）

今日、絵にお目にかかって広い会場で俯瞰して、この絵の凄さに気付きました。長い絵の語る絶望から希望への物語、よかったです。

毎日新聞の記事を読んで来ました。
様々な人間の感情を集積した表現して
圧倒されました。
うちの父も母も大連からの引揚者です。
また「新京」(~~大連~~ 長春)に住んでいた関係者も
おります。
戦後77年を経過して
当事者が少なくなっていく時代に
貴重な歴史絵画を公開していただき
ありがとうございました。

2022.9.2.
棄民となった人々のひきあげ図!
150万人のうち100万あまり、50万人は残されたのですね。
恐ろしいことです。
キガ、虐殺。

おじ―父の弟は19才で亡くなりました。
輸送船 めきまく丸で。
今もフィリピン沖の海で眠っていることでしょう。
おろかな人間!でも考え、話し合いもできるのが人間です。
今につづく戦争、早く話し合いを!
1948生　山崎詠子　神戸

No.

Date

今日はありがとうございました。
よく、思いきって描かれたと思います。父は北朝鮮で少年兵、おじはインパールから結局2人ともシベリア捕虜収容所ですごしました。
ただ、私は人権教育の立場にいたので、この絵には古代中国大陸から海を越えて、あるいは半島経由で日本に渡った人々、半島から大陸、大陸から半島と数千年前から同様に様々な難民が移動して、今の日中韓という国が成立したと思います。
台湾もそうです。沖縄もその他、今のウクライナも……
あらゆる時代、地域で今も続く難民への慰霊といのりとして、鑑賞させていただきました。

貴重な展示会、企画ありがとうございます。
20メートルの作品の前では涙が止まりませんでした。
私は1946年7月3日生まれの女性です。~~生~~母にきいた話では、生まれて2~~個~~ヵ月に引きあげて鹿児島（両親のふるさと）に行くまでの残こくさを何度もききました。
無事に鹿児島に帰れないかもしれないと思うたびに、「この子を育てて下さい」と中国に何度も、赤んぼうの服にお金をぬいつけて置いたけど、ひきず鹿児島に着いた母の喜び。
でも強く両親にもっときいておくべきでした。父は満鉄でしかも軍人として、鉄ぼうを手にした写真もあります。
こんなことをきいて育った私ですが、しっかりきいていませんでした。でもこの事実が、私の人生を変える動機になったことは事実です。日本は歴史を認め、100万以上を虐殺したことを国にあやまってほしい。

本日はたまたま新聞の記事が目にとまり 即 会場に参りました。
~~本~~自分は終戦の年9月11日 錦州にて生を受けましたので
記憶はありませんが 兄が引揚出発日の朝に(10月15日)
錦州の旧陸軍航空部隊で息を引き取り(3才)ました。
故に 1983年の中国墓参団の一員として 母と共に中国東北部
一周致しました。その際中国の方々が残留邦人の帰国に
大変な協力をして下さった事を知り感謝した事を
覚えております。兄のお墓もそのまま残されおり 母共々安心しました。
母から苦労話をよく聞かされましたが 父が1950年末にソ連
から帰国するまで母方の実家にて育ちましたが、祖父・母や
両親から絶対に戦争という様な事はすべきでは無いと
いう事を教えられて来ましたが 会場内の絵画を拝見して
尚一層 その気持を強く感じました。子供や孫にも強く
言い聞かせて 今日の平和を永久に守っていってほしいです。

昭和18年夏に ~~祖母の病死~~ きた通知で 満州から東京へ
帰ってたので、写真の様な目にはあってなく、在満の人は苦労されて
引揚てこられたのだと思うと胸がつまります。

No.

Date

昭和20年8月8日 私は北満柳樹開拓団の勤労奉仕
より戻って後、空が爆弾で、驚き外を見ると照明弾が
輝いていました。その時中学2年生、15才でした。
私の住んでいたハルピン三棵樹の満鉄の街は、ソ連
侵入後も静かで父達は鉄道工場勤務を続けました。
1946年6月、引揚げの話が出ました、父は中国共産軍に
抑留されたれ（1953年帰国）、8月、母と兄弟で引揚。
母は1947年11月逝去。父の帰国（昭和28年）まで
親戚の世話になり、思わぬ貧しい生活を経験しました、
ただ体は一度も病気することなく、91才となりました。
森川行雄

昭和20年9月に北朝鮮で生を受け、私を含め5人で
命からがら引揚げてくれた母たちに感謝しながら
今日はゆっくり~~拝~~拝見させてもらいます。

帰ったら兄達にこの絵画の事を話して、昔をしのび
ます。天国に旅立った母や姉達もきっと

この絵を見ながら苦労してみんなで帰国できて
良かったネと言う事でしょう。

今日は素敵な一日になりました。

ありがとうございました 小柳光子

No.
Date

9月2日 感想文 9人

私の母が引揚者でした。
母は 私が
子供の時から 中国の方々が引揚に際して 助けて下さったことや
無事に連れて帰れる可能性と 中国の方に預けることで
子供の命を助けることとを 比較して 子供をおいて帰った人もたくさん
おられ
そんな子供を 我が子のように 中国の方々は 大切に育てて下さった
のだと話していました。

世界各地での難民の報道を見ると
私も 当時 このような姿だったと 言っていました。

今回 日経新聞の記事を見て
必ず見にこようと 思いました。

子供の時引揚げてきた母の姿を見るようでした。
と同じに こんなにも 当時の日本人に思いをよせて 描いて下さった
王希奇先生に 心から感謝いたします

澤田 春美子

絵画展に参加させて頂き 有難うございました
胸にせまる色んな思いで 文章にしきれない
です。加害者となった日本として 戦争
知らない世代ですが 二度と戦争が
起きない様 平和な日本を子や孫に
残さなければと強く思いました 峯口

私は戦争中に生まれた者ですから体験はしていません。
しかし毎年8月になると広島長崎 終戦日を迎える中で
何故戦争があったのか学ばされました。
今日の絵画展を拝観して戦争の終ったあとの状態も
思いやり 戦争は人為的なものだけで人間の欲望で
多数の方が犠牲を行うもの。
戦争反対の声を大きく言わねばと思いました。

（満州国では新京）
私は1946.1.23 中華民国長春市に生まれました。満州国は既になく
両親・兄弟共 絵にある葫芦島から ~~[illegible]~~ 46年8月に引揚げ佐世保に上陸
しました。もちろん記憶にあるわけはなく、両親からの伝聞です。
しかし、この絵を見ていると当時の両親の悲惨な姿が目に浮ぶようです。
戦争は加害も被害も絶対反対です。
ウクライナの早期停戦を！

加藤敦史

昨年、宮原さんが大阪府豊中に来られ、話を伺い、両国で
見られなかった私は、ひどく期待をしておりました。
今年4月に、内蒙古から邦人4万人の方の(お一人から引き揚げ体験のお話を伺い(当時3才)
更に、その1便、同じ船で、博多港に帰港されたという女性(当時8才)
との交信に、本当に知らないことばかりでした。昨日、加藤
登紀子さんの夕刊記事を見て、ふるい立って、拝見にかけ
つけることができて、良かったと思います。
王希奇先生の魯迅美術学院での益々の御活躍を
お祈りしております。戦後はまだ終わっていないですね。

寺本久子

8/2

9/1の新聞を見て ここに来ました。
絵を見てるだけで 泣けてきました。
私の父は 関東軍の人間で 無事に帰れたのは ~~[illegible]~~ 多くの人の ぎせいの元だったのを知り ショックを受けています。
平和な今の日本があるのは 皆さんの頑張りのおかげです。

インターネットで知りました。私は大連盲唖学校史を調べています。神戸市在住の94歳の方のオーラルヒストリーを行っています。ショッキングな話をいっぱい伺いました。日本に帰っても苦労の連続、やはり戦争はやっていけないと思います。大きなキャンパスの中に、94歳の方（当時は19歳）が居ると思うと、いたたまれなくなります。

9/2

新聞の記事を見て来ました。

言葉なしです!! 我々の立場は云うまでもなく

子にも孫にも伝えたい!!
こんな事絶対にしてはいけない! 絶体にさせてはいけない!!

戦後生まれで平和な経済成長の中で楽しく過させていただきました
戦争の中で生きて様々な辛苦を味あわれた方々に思いをいたす機会があたえられ感謝いたします.

9/2

同じく台湾からの引揚げの名古屋の従姉に
教えられ、是非会場で[illegible]の
資料を見たいと思い来場しました。
従姉のような悲惨な体験はありませんが
幼心に記憶というより、映像のような記憶しか
残りません。
戦後77年、引揚げ者は[illegible]、記憶も定かでは
ありません。今、ウクライナ等での惨状を見聞きするにつけ
平和の尊さを感じています。

No.

Date

9月3日感想文（5人）

- 私も引揚者です。小学2年生で終戦で、3年末で引揚げて来ました。今日の絵画展を見て大変感動しました。この通りです。ありがとう。

- 若者にこの記憶を引きつぐにはどうしたらよいか。

9月3日感想文

No.

Date (2人)

自分がいかに日本の厂史を認識していなかったか今回の作品と説明を聞き、痛感しました。70才にもなってこんな感想しか書けない自分が恥かしいと思います。戦争は破害を与えただけでなく、自らもその破害を受け入れざるを得なかった人々の苦労の大きさ、深さを感じると共に日本政府のあり方に強く疑問をもちました。それは今に続いているように思います。

nakanishi

1946年、1月31日生まれです。

神戸在住
松田

1月に生まれ、8月に帰ることが出来ました。父が満州鉄道につとめていたので、兄と私は母がすごい思いをしてつれて帰ってくれました。私はまだ赤ちゃんで何もわからずおむつの取り合いだったそうです。舞鶴につき父の故郷青森でしばらく生活し、大阪で学生時代を送りました。

舞鶴にも行ってきました。私のルーツをたどりに。今の中国北部だった満州の地、1度たずねてみたい。今は亡くなっていないのですが主人も画家で、このギャラリーに展示され、なつかしく今日こさせていただき、かんげきです。これからもがんばってつづけて下さい。

No.
Date

9月3日 感想文 (9人)

もっと当時の事を聞いておいたらと思っています.
5才ですから若干覚えている事は有りますが,
母親の気持は全然聞いていません. 3才の姉
と, 骨つぼに入った(1才の妹)骨を1人で持って
帰る時の気持はどうだったのか, 聞けてない
事を非常に残念に思っています. 父は(方面軍の軍人だった)
1941. 9. 生まれ(80才)　撫順市、
コロ島からの引き揚げです.

親子四人無事にハルピンより博多港に着岸した時ほど
声にならないほど泣いたと父親、母親が共に話していた。
父は満鉄にあり戦時中、引揚げの大変な日本を経過した
事柄を全て語って、帰国後は国有鉄道に入り、66歳
で逝去。母は昨年101歳で逝去。
我々兄弟は、現在健康で過ごせれるのも全てこの
コロ島からの引き揚げから始まったのを感謝して
おります。

1946年.6.(3才)

私は1940年11月6日、奉天で生れ
46年8月に、コロ島から佐世保に引揚て
来ました。
今年は戦後77年、明治維新から終戦迄も
77年、戦後77年の今年「1946」展が
開催されるのも何かの縁だと思います。
終戦当時から戦後の苦しい時期を
改めて思い出し、涙が出そうになりました。

引き揚げてきたのが1946年 私も葫蘆島から。
当時7才だった故に、記憶は定かではありません。日本に
着いてからの記憶は鮮明ですのに。。絵を拝見して当時を
思い起し感無量！改めて親に感謝の念大。連れてきてもらって
までと思いましたが本当に感慨深く、感謝の日になりました。

私は1940年大阪市生れです。そして昭和19年3月父母の出身地の徳島県鳴門市に
疎開し直接の被害は受けませんでした。（私の夫は昭和19年に父親をルソン島で戦死しています）
戦争は多くの人の命を落とす[illegible]。今日はみんなでこの会に参加出来たことを喜んでいます。
ありがとうございます。よろしくお願いします。

私は10才の時、朝鮮からの引揚です。
釜山で ~~連絡~~ 引揚船に乗る時の情景に似ています。
一番下の妹（生後3週間たったばかり）をふとんにくるみ、
大風呂敷に包んで、母が首にぶら下げていた情景とよく
似た場面もあり、「おかあちゃん」と思いました。
戦争は絶対に駄目。「憲法9条を守りましょう」。

京都　手塚良子（[illegible]日中友好協会員）

私は現存する引揚者住宅で現在も居住しておりますが
大阪府との退ちのき裁判で敗訴しました。今年9月8日に強制執行に
来ます。何とか引揚者住宅を残したい思いで闘いましたが
司法の判断に夢ちりました。でも、引揚者住宅で育った事、
引揚者のおじさん おばさんから聞いた話を語継いで行こうと
考えています。

大阪府貝塚市半田780-43、[illegible]引揚者住宅 住民
村崎　太

とても素晴らしい絵画展でした。
ありがとうございました！

昭和18年生まれの母は正に1946年、満州からの引揚者です。船底で泣くたびに兄弟から口を押さえられ、なんとか九州の祖母の実家に戻ってきたそうです。
二つ上の姉は今でも中国の木の下にうめられていると母の姉からききました。母にそのことをきくと、「もう二度ときかないで」と怒られ、満州のことは記憶の底に封印しています。

「戦争は絶対にしてはいけない」
「過去を忘れず未来に活かそう」

この言葉を大切に、子どもたちにも語りついでいきたいです。

神戸市　S.T.

朝日新聞の夕刊で知り、参りました、
私は1945年4月に中国済南市でうまれ、1946年にいさはやに引揚げてきました。まだ1才でなにも覚えていませんが、父母からも詳しい話は聞いていません、すでに鬼籍に入った2人なので、今になればもっといろいろ聞いておけばよかったとくやまれます。この絵を見て、きっとこんなふうにして連れ帰ってくれたのだろうと、涙が出ました。
ほんとうにすばらしい絵で、感動しました、
もっと長い期間みられるように一人でも多くの人に見てもらえるようにと思いました。　ありがとうございました。　大阪市　山本紀子

No.

Date

9月 4日 感想文

3才の時 兄弟 兄、弟、母、祖母と引揚てまいりました。
黒い船のタラップが高い高いという事だけ
おぼえています。一人でのぼりました。

絵画の迫力、平和の尊さを感じました。毎年長崎で平和のための戦争展を
しています。今世界中できなくさい情勢の中 本当に人類として過去を忘れ
ず 平和の未来を私たちの手でと思います 1人1人は無力ではないので
あきらめずに平和の大切さ伝えたいと思います

75年前のこととは言え、往時を知る者としては昨日のことと
のように思い出される。絵を見ながら、あの人がいるこの
人もいる――と、今はなき知人・友人の顔が よ~~みが~~
[illegible]かび~~ぬ~~よみがえってくる。本当に感動する絵でした

撮影を禁止してはどうでしょう
写真をとっている人の気持ちが理解できません
苦しい人の写真をとってあとでどんな気持ちで
みるのでしょう　悲しいはずなのに。

感動しました。
戦争は知らない世代です。
今年3月に死去した母から
戦時下での疎開生活、その後の生活
の話、聞きました。
改めて、戦争反対、平和な世界に向けて
今、自分にできること問いかけていきたい
と思います。

一九四六　まさに私が満州で生まれた年です。
この絵にえがかれている赤ちゃんは私ではないかと
思って見ましたよ!! 満州の寒かった話やら色々今は亡き母
から聞きました。無蓋車にのって日本に帰還の
苦労「流れる星は生きている」という本に書いてありますが
絵は初めて見ました。父母に感謝の気持で
いっぱいです。ありがとう!!
→作者　藤原ていさんです

今回、神戸での開催が実現し、本当に有難う！
見て、（いや！観て）感動しました。
戦争のおろかさ、を改めて認識すると共に平和を望み
祈念したい　私の父は日中戦争に行き、私が1才に
なる5日前に戦死しました。今回の先生の作品を通して
八十年以上前の事実に辿りつき孤児として生きている
尊さと使命を再痛感するものです。
生かされているものの使命として生命の尊厳、人間の強欲など
熟慮しながら感謝して歩み、語り継ぎます
有難うございました。

No.

Date

7月4日感想文

1946年佐世保に引揚げてきました。
9才7才6才3才の4人の子供をつれて
~~母~~親がなんとか連れて帰ってくれました。

82才男です

1947生まれ。神戸の街にはまだイーストブロック、ウエストブロックと進駐軍のキャンプがありました。ラジオから舞鶴港への引き揚げ者情報が毎日流れていました。私の戦後の記憶です。
私は、それに王氏の画家が、日本軍の戦争で加担させられた事実をどのようにとらえたのか確認したくてまいりました。

今年夏50歳になりました。歴史で「引き揚げ」のことを知識として習いましたが「知っている」ということと「感じる」「自分自身と重ね合わせて知る」との違いを痛切に考えました。おそらく同年代の感覚に近い王氏が、1つの写真から感じとったものと同じようなものを、今日この展示会に来て私も感じました。直接に、私たちは戦争を知らないです。でも、足を運んで、しっかりと「知り続けようとしないといけない」と強く思いました。
高校生（当時2年）が語り部の方に個人的に連絡を取り戦争の悲惨さを伝えていこうとされていることに、50歳の私が恥かしさを感じ、微力ながらも私たちも「何か」をしていかなければならないと思いました。

西宮市　律子（一般・学）

No.

Date

1946. この中で私は5歳でした。
当時の幼なじみと共にここに来ています。
関係者の皆様に感謝です。

愛知県。 山口晴

高槻の友人におしえてもらって、最終日にすべりこみました。思いをはるかに越えた迫力で、圧倒され、くらくらしました。これだけの作品、大変でしょうけど、なんとか常設で、永く伝えていけるようにしないといけないと思いました。ひとりひとりの人物が浮きぼりのように、語りかけてくるように見えました。どの人物にも、それぞれの人生を感じ、どこかに自分と似た人や、親しい人と思えるような人がいるように見えます。

近現代史を全く教えてもらわなくて学生時代は終りました。事実を直視し考え反省し前に進むということが、なぜ日本人にはできないのか、恥かしい思いをしています。そして自分に何ができるのかを考え続けなければと思っています。

大阪 もり

No.
Date

大正9年うまれ.

。母は、北朝鮮からのひきあげ者です。
この絵のとおり、の話しを、何度かききました。
満州にいた 大連、新京、ぼたんこう…の地名をよくききました。
父が軍医だったので、終戦でシベリア抑留され
昭和23年に無事かえってきました。
母は長男をみごもっていたので、赤十字船に乗り
かえってこれました。その道中の大変さ。
（道にうめた幼児の山が両側にあったこと、
銃殺されてあったこと、
38度線を越えて、ホッとしたと…）

道々に幼児を
うめたり銃殺
が[illegible]てあた

その長男も、大阪に帰ってきて、うまれたあと、乳がでず
栄養失調でなくしました。そのあと次男（兄）、長女（私）が
うまれました。S25年 S27年

「私の今の命があるのは母が必死になって
ひきあげ船に乗ってくれたからです！

戦争は絶対いけない、
ことです。

大阪（高祖まみ）

私へ祖母、母（当時赤ん坊）が満州から帰国しました

神戸（久保田裕二）

No.

Date

9月4日 感想文

私は1945年9月28日 満州国奉天市で生まれました

翌年1946年2月に コロ島から 舞鶴港に引き揚げ

徳島に帰えったと ~~母~~ 親から 聞かされています。

今まさに 王希奇さんの 画 1946に 描かれている

絵の 通りであったのかと 感激しました。

仕事の関係で 中国とは100回を越える

出入国を 数えましたが.

今は退職し、加古川市の 日中友好協会の

前田さん主催の 勉強会に 行っています。

本日の画を見せていただき 心新たに

平和・不戦の 重要性を 再認識しました。

ウクライナ等が 心配です.

神戸市 好田 訓一

父が1946年中国から引揚げた縁で、今回展覧会に来ました。父の追体験ができたように思います。父の苦労の一端を理解できました。
戦争を止めなければいけないですね。

私の祖母が満州に行っており、母は満州生まれです。
祖母は引揚げの際、子供6人を自分の体にくくりつけ帰国したと聞いております。
今回、このような機会に恵まれた事、感謝いたします。
ありがとうございました。

山田洋次監督が満州から帰国された山口県宇部市から来ました。宇部も空襲で焼かれていましたが、山田少年はゲタで宇部高校に通ったと語られました。山口の仙崎、福岡の博多、長崎の佐世保の港を訪ねて引き揚げの実態を学んできました。福岡の二日市にある施設で、ソ連兵から乱暴された女性を堕胎する手術がおこなわれました。
岐阜の黒川開拓団は、団を守るために女性をソ連兵にさしだす性接待をおこないました。その中のＳさんは、団のためにそうするしかなかったといいます。絵の中にＳさんに似た女性がいて、思わず声をかけようかと思いました。
今回の企画が、世情が不穏な状況にもかかわらずおこなわれたことに心より敬意を表します。戦争は、満州からの引き揚げ者にとって、その家族にとって、まだ終っていないのです。中国がこれだけの作品で戦争の記憶を伝えてきていることに、私たちはどう応えればよいのか、絵の前で考えてしまいます。加害を隠し、都合の悪いことはなかったことにして、未来は築けません。多くの人が見に来ておられることに大変心強く思いました。日中友好万才!! 共に平和な未来を

宇部市船木 恵次龍雄

No.

Date

高知県に行きたいと思っていたのですが、行けなくて残念に思いました。観れてよかったです。歴史は人民の負の遺産を未来のみちしるべにするための絵を描いて下さってありがとうございます。